

平成30年度「にこまちフォーラム」開催報告

- 日時 平成31年2月16日(土) 13時～16時(開場12時)
- 場所 西公会堂 ●参加者 355名
- テーマ 「明日へとつなぐ 地域のきずな」
- 講師 西尾 敦史(にしお あつし)氏(静岡福祉大学社会福祉学部教授)



導入講義

『つながりが豊かな地域は、自分に困りごとがあったときに隠して耐えるより、地域にさらけ出せば助け合える、お互いに迷惑をかけあえる環境があります。とりわけ西区では、高齢世代より若年世代が自分だけ、家族だけで頑張ってしまう傾向がある。この課題を地域でどのように解きほぐせるかを考えていく必要がある。』との話をいただきました。

地区活動報告

《第1地区》

子どもから高齢者まで幅広い世代が交流できる居場所を3カ所つくりました。みんなの居場所のほか地域のイベントなどでも活用できるようみんなで検討し、今後につなげていきます。



【西尾先生のコメント】

高齢者や子どもたちが地域で活躍するにはどうするか、問題意識を持った取組で今後がとても楽しみです。

《第2地区》

戸部公園で50年続「ラジオ体操」では、毎日100名ほど参加され、顔見知りになり情報交換を楽しんでいます。また、ラジオ体操の後は「モーニングコーラス」を楽しんでいます。歌うことは気持ちよく、健康的で笑顔にもなれます。



【西尾先生のコメント】

誰でも参加できることで多世代のサロンのような場で楽しそうですね。また、「ゆるやかなつながり」や健康にも効果的な取組であると実感しました。

《第3地区》

「おでかけ3」は山坂が多い地域から外出が苦勞するといった声があり、気軽に利用できる移動手段を考え、「生活創造空間にし」の車を活用して始めました。



昨年9月から12月末まで248名の利用がありました。

【西尾先生のコメント】

「移動手段」は、少子高齢化社会を迎えた全国的な課題です。地域と施設が協力して、利用者の声を反映しながら果敢に取り組まれています。地域のつながりに効果的な取組で大事に育ててほしいです。

《第4地区》

開始から三年目を迎えた「みんなの食堂」は、子どもから大人まで毎年1000人を超える参加があり、今年度は老松中学校で初めて開催しました。中学生がスタッフとしてボランティア活動をしてくれました。



【西尾先生のコメント】

子どもだけでなく大人も参加できる「みんなの食堂」は、孤食の解消、多世代交流につながります。からだへの栄養だけでなく、心の栄養を支える取組だと感じました。

《第5地区》

「ジュニアボランティア」は、子どもの声がかきかけで始めた子どもの育成につながる取組です。子どもたちは、「JV5」のビブスを着て、福祉活動や地域の行事に参加し、いきいきと楽しく活動しています。



【西尾先生のコメント】

「JV5」という愛称が、子どもの気持ちを喚起させ、役に立っているという尊重感を養うことにつながっていると感じます。また、地域の不安でもある「防災」に、子どもたちと協力して訓練に取り組まれていることに多くを学びました。

《第6地区》

地域のさまざまな活動を情報共有して、相互につながる人の輪をつくることを目指して取り組んでいます。また、昨年作成した地区のキャラクター「にしるくちゃん」を地域に浸透させるため、クリアフォルダーを作成しました。



【西尾先生のコメント】

地域の活動内容や要望を情報発信することで、人と人とのつながりや輪ができる取組として、とても参考になりました。

裏面あり

講師とのディスカッション

地域には機関、人、といった様々な資源があります。その資源を掘り起こし、活用しネットワークをつなぐことが大切です。例えば、地域の中に学校はあり、そこに通う子ども達は地域で暮らしています。子ども達自身も地域の大きな資源であり、学校と地域をつなぐ役割として、学校地域コーディネーターもいます。西区の中には、子ども達が高齢者と交流するサロンやお食事会があります。高齢者は子どもから力を貰いますが、子ども達にも地域に活動があることを伝えられます。地域は若い子育て世代が出来ない行事を行い、まずは参加してもらい、いつか担い手へとのお思いもあります。担い手の問題はどこにもありますが、何かを立ち上げた情熱が担い手、支え手へとつながります。



こどもの地域活動発表&にこまちのうた

○こどもの地域活動発表

西区で行われた様々な子どもの地域活動についてご紹介しました。稲荷台小学校キッズクラブの子どもたちに「にこまちプラン」について考えてもらった様子等を動画で見てくださいました。また第五地区を中心とした地域の中で「ジュニアボランティア」として、活動した子どもたちに実際にお越しいただき、インタビューしました。子どもたちからは、「たくさんのボランティアをする中で、みんなが体験できないようなこともできたり、小さい子とも触れ合えて、ボランティア出来て良かった」という声を聞くことができました。



○みんなで歌う「にこまちのうた」

プログラムの最後には、岡野中学校手話部やジュニアボランティアの皆さんをはじめ、西区内の子どもたちと、キャラクター、地域の皆さんと、みんなで「にこまちプラン」のイメージソング「にこまちのうた」を歌いました。



ホワイエ

マスコットキャラクター投票

マスコットキャラクターと写真を撮ったり、家族で楽しんでいました。



作業所販売

作業所の紹介パネルの展示と、にしまろちゃんグッズの販売をしました。広く作業所を知ってもらい良いきっかけになりました。



西区フォトコンテスト

西区フォトコンテストの受賞作品14点を展示しました。足を止めてじっくりと見てもらうことができました。



更生保護女性会による 豆運び、あられ販売

子どもから大人まで、たくさんの人が豆運びに挑戦して盛り上がっていました。



3R夢

時間を忘れる程夢中になって楽しんでいる子どもたちが多かったです。

コースターづくり



輪投げ

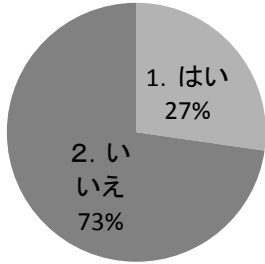


平成30年度「にこまちフォーラム」実施アンケート

参加者数: 355名 (来場者、従事者含む)
 来場者数: 246名
 アンケート数: 99枚 アンケート回収率: 40.2 %

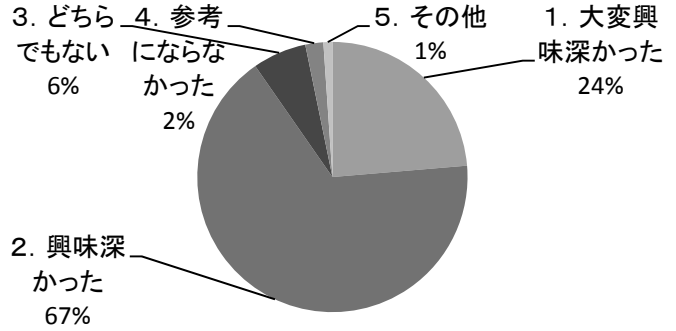
○にこまちフォーラムへの参加は初めてですか？ ○フォーラムの内容はいかがでしたか？

	1. はい	2. いいえ
人	27人	72人



約3割の方が「にこまちフォーラム」に初めて参加してくださいました。

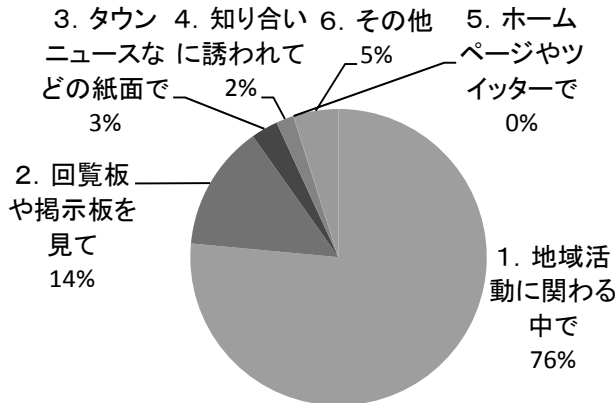
	1. 大変興味深かった	2. 興味深かった	3. どちらでもない	4. 参考にならなかった	5. その他
人	22	62	6	2	1



「大変興味深かった」(24%)「興味深かった」(67%)と合わせて93%の方に興味を感じていただきました。「時間が長い」という意見も数件寄せられました。

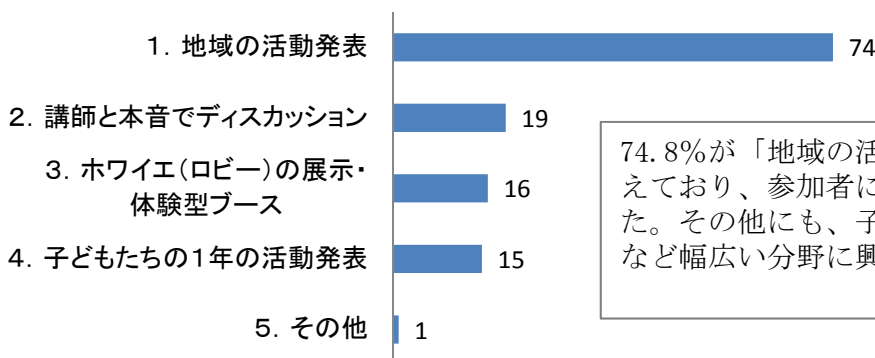
○フォーラム開催を何で知りましたか？

	1. 地域活動に関わる中で	2. 回覧板や掲示版を見て	3. タウンニュースなどの紙面で	4. 知り合いに誘われて	5. ホームページやツイッターで	6. その他
人	78	14	3	2	0	5



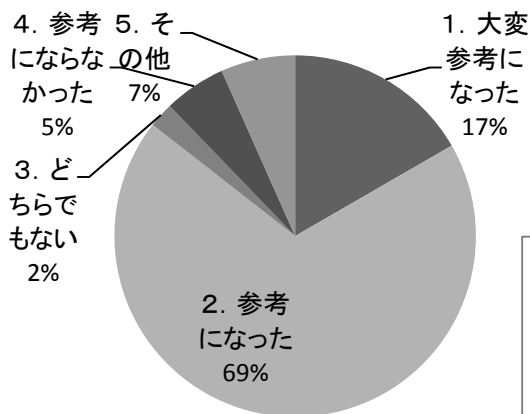
回答者の76%は地域活動に関わる中でフォーラム開催を知った、各機関定例会などで知ったと答えており、参加者の多くが地域活動に関わる中でフォーラム参加に繋がったことが分かります。また、回覧板や掲示版を見て知った方も14%いました。

○どのような内容が印象に残りましたか？(複数回答)



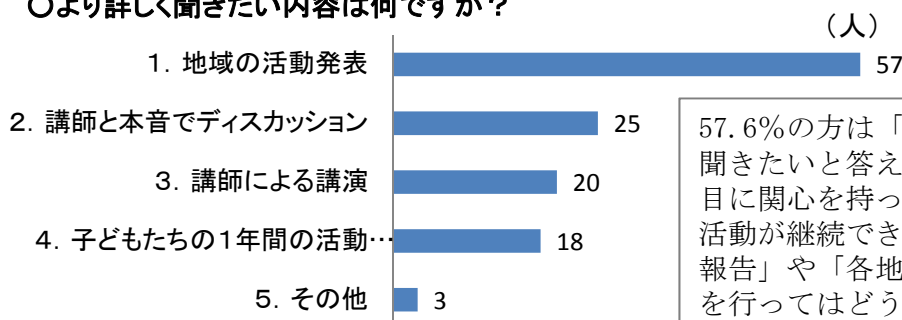
74.8%が「地域の活動発表」を印象に残ったと答えており、参加者にとって最も興味を引きました。その他にも、子ども達の発表やホワイエ展示など幅広い分野に興味を持っていただきました。

○講師と地区発表者のディスカッションはいかがでしたか？



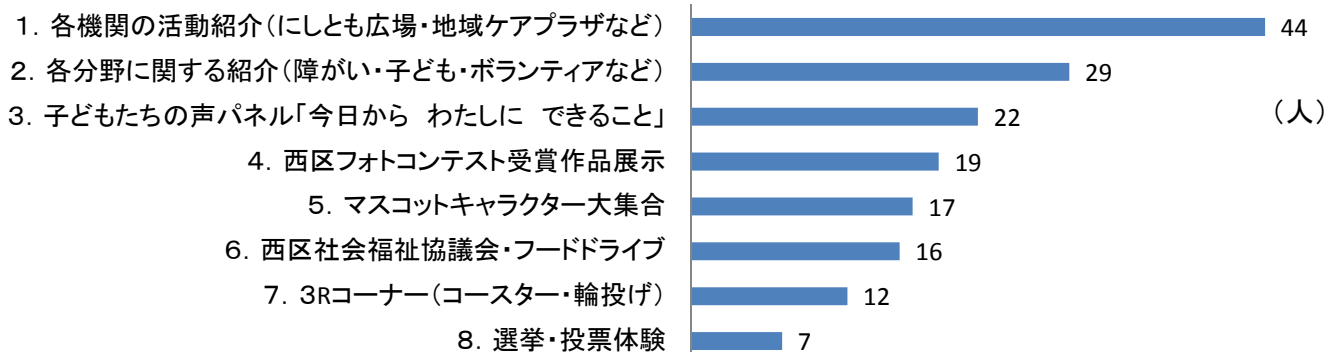
「大変参考になった」「参考になった」を合わせると86%の参加者が「参考になった」と回答しています。一方で、「西区の抱える共通の問題を話してほしい」といった意見もありました。

○より詳しく聞きたい内容は何ですか？



57.6%の方は「地域の活動発表」をより詳しく聞きたいと答えています。その他にも多様な項目に関心を持って頂きました。また、「うまく活動が継続できている事についての詳細な活動報告」や「各地区とのパネルディスカッションを行ってはどうか」という意見もありました。

○ホワイエの内容で印象に残ったのはどれですか？



各機関の活動紹介や各分野に関する紹介など、全体計画に関連する機関、分野に関する展示に多く興味をもって頂きました。その他にも、開演前から多くの方がホワイエの展示や体験を楽しむ様子が見られ、感想からも「いろいろ工夫されてよかった」との声がありました。地区センターに遊びに来た親子が興味を持ってくださったり、通りがかった若い方がお声掛けに応えホワイエの展示を見て下さることもありました。

◆ご意見・ご感想等◆

・発表資料が冊子に纏められ非常にうれしかった。参加できなかった各班の役員にも回覧、役員会でも活用したい。

・毎年少しずつよい活動が広がっていると思う。他の地区の活動を参考にしながら、より住みやすい地域へ向けて皆さんが頑張ってくださいとありがたいと思う。

・子どもから高齢者にいたるまでつながりの輪また健康や情報などいたるところで苦勞をしながら活動している。とてもすごいことだと思います。

・にこまちプランのメンバーです。難しい問題が多いですが、今後を期待する子ども達のため、これからも頑張りたいと思います。